

1. ②民間企業、他機関の流出抑制の取り組み、展開(事例紹介) 国土交通省 関東地方整備局
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

- **(仮称)守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業は、常磐自動車道守谷SAに開設が検討されているスマートIC周辺において、新たな産業用地整備を計画し、職住近接のまちづくりを前進させ、市のさらなる発展を期待。また、産業用地整備における**雨水調節池の整備や盛土造成による浸水リスク軽減等の対策を検討。****
- 稲戸井調節池は、R4.3末時点で河川整備計画目標に向けた洪水調節容量確保のための掘削の進捗率が約32% (255万m³/800万m³)であり、今後も継続的な池内掘削が必要。
- 稲戸井調節池の池内掘削発生土を(仮称)守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業や利根川左岸及び鬼怒川左岸の弱小堤対策、田中調節池の周囲堤及び囲繞堤整備に活用し、各事業が連携し配土調整することでコスト縮減を図りながら、当該流域一体となった防災・減災の推進を目指す。

